

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

# たまちゃん通信

平成 30 年 2 月発行 96-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 「健康あそびお手玉」講習会を開く

### ひろしまお手玉の会が自作テキストで

ひろしまお手玉の会(森下恵子会長)は、平成 29 年 10 月、広島市のまちづくり市民交流フェスタ実行委員会との共同主催で、財団法人広島市文化財団、広島市まちづくり市民交流プラザの共催を得て、『お手玉遊び』～心と体の健康づくり「健康お手玉」講座～を、広島市まちづくり市民交流プラザで開催しました。



講座では、森下会長が、これまで長年にわたり取り組んできたお手玉講習会の内容を集大成した、内容の濃いテキスト『お手玉遊び』を制作して、講座に臨みました。素晴らしいテキストなので、内容を紹介させていただきます。



テキストは、モノクロ A4 判 20 ページもので、表紙には、イギリスの大英博物館が所蔵する、古代ローマ時代のお手玉をする 2 人の女性像の写真を扱っています。



内容は、「はじめに」で、平成 7 年に日本のお手玉の会を訪ねてからのお手玉の活動を振り返り、これからますます重要になるお手玉の活動に触れ、「健康あそびお手玉」が、「親から子へ、子から孫へ」

継承されることを願っておられます。



「お手玉の効用」では、脳のイラストを入れて、お手玉が脳の活性化、健康に深いかかわりがあることを紹介しています。

「日本のお手玉の歴史」では、聖徳太子が使ったとされる「石名取玉」から、平安時代、鎌倉時代、江戸時代、明治、大正、昭和、そして平成へと時代とともに変化したことを伝えています。

さらに、「世界のお手玉遊び」の紹介、「お手玉の別称」では、地域によって呼び名が異なることにも触れています。

つづいては、数々の「お手玉歌」の紹介、「寄せ玉」(拾い技)、「投げ玉」(投げ技)、「簡単なお手玉演舞」などについても述べられています。

「終わりに」では、「お手玉遊びは、お手玉づくりから始まります。お手玉をお伴に、やさしい心と笑顔をいろんな所に、いろんな人お届けできればうれしく思います」と結んでおられます。(写真の左上がテキストで、その他の写真は、森下会長がこれまでに担当されたお手玉教室の様子です。)